



▲デンマークでの研修の拠点となった日欧文化交流学院の裏庭にて。ここに寝泊りして様々な研修を行い、ホームステイ先の家族ともここで対面しました。ここでの生活も貴重な体験の1つです。写真中段・右から3番目の方がこの校長先生の奥様。



▲ルドボルドリード村での一コマ。環境問題への取り組みの一環として家畜のし尿を利用したメタンガス発電を行っていました。写真はその見学の様子。研修中は雨や雪に見舞われることが多く、この日も雪の中での研修となりました。



▲ホストファミリーとのさよならパーティーで行った二人羽織。現地の方もとても楽しそうに参加してくれました。さよならパーティーでは涙を流す人も。



▲副団長の藤井さん(右)と団員の高橋栄子さん

すてきな旅ができ、すてきな仲間ができたことが嬉しいです。

藤井美奈子さん(副団長)

今回の旅で印象強かったのは、ルドボルドリード村です。ここでは環境問題への取り組みとして、太陽熱、風力、さらに家畜のし尿を使った発電を行い、村の電力をまかなっていました。飯館でもこんな発明ができたらいいなと思いました。また、ホームステイでは現地の方の暖かさに感動する

とともに、もっと言葉を勉強してから研修に行けば、より有意義な研修が出来たのではと反省しています。

それと、今回は団長さんが女性だったので、同じ視線で、気軽にいろいろ相談ができてとても助かりました。

今回の旅では、研修での体験と、一緒に旅したすてきな仲間を得ることが出来ました。今後はこの仲間たちと一緒に何らかの活動ができたらと思っています。また、今回の旅でとてもお世話になった家族に心から感謝したいと思います。

既婚の女性15人。まずドイツを訪れた団員らは、バイエルン州の村づくりコンテストで金賞を受賞したゲリッスリード村や、村をあげて環境保全を進める先進的な自治体として表彰されたルドボルドリード村を訪問、現地の村長たちと懇談し、「美しい村づくり」についての研修を行いました。

さらに、研修期間中はシンデレラ城のモデルになったノイシュバンシュタイン城などのドイツ・デンマークの観光名所等を見学し、ヨーロッパの伝統、文化、暮らしを大いに体験してきました。帰国後の感想を「いろいろな出会いを通し、これからの生き方を学ぶ旅ができた」と話す団員らは、様々な感動を共有し、今回の研修を通じて新しい自分が発見できたように「快く送り出していただいた家族に感謝したい」と話していました。



▲コペンハーゲンの港町を背景に

こころときめいて

くらしかがやいて

平成14年度 若妻の翼・パートII

ときめき
かがやきの10日間

15人の女性が ヨーロッパで 自分再発見の旅

村内の既婚の女性がヨーロッパ研修を通して「クオリティライフ」のあり方を学ぶ「平成14年度若妻の翼パートII」が9月22日から10月1日の日程で行われました。

今回の特集ではドイツ・デンマークへ「自分再発見の旅」に行った彼女たちの旅の軌跡をご紹介します。

この若妻の翼パートIIは、平成元年から5年までに行われた若妻の翼事業が8年ぶりに復活したもので、家族の中心にいる女性を海外の先進地域に派遣し、一人ひとりの価値観を大切にするいろいろな生き方を学び、暮らしを見直すきっかけづくりと行われました。今回派遣されたのは団

長の市澤美由紀さん(深谷・第1回若妻の翼団員)はじめ、村内に居住する

ホームステイはとも思いう深い体験でした。(写真は日欧文化交流学院のさよならパーティー)

